

# 文学研究科 日本文学専攻 [修士課程]

## ディプロマ・ポリシー(DP)

文学研究科では、学部で学んだ日本文学、日本文化に関する基礎的な知識の上に、より専門的で高度な知識を学ぶとともに、主体的な研究調査、発表、討論によって、より広い視野に立った学識を有する専門家や教養人を育むための科目を設置している。複数の教員の指導を受けてこれらの科目を学び、所定の単位を取得した上で、修士論文を提出し、一定水準に達していると認められた者に、修士の学位を授与する。

### ◆日本文学専攻 [修士課程]

日本文学専攻では、所定の修了要件と以下の要件を満たした者に修士（文学）の学位を授与する。

- 1.日本文学や伝統文化に関する総合的・体系的な学識と研究能力を身につけていること。
- 2.国語・書道の教育現場やメディア・出版業界その他における社会的諸活動において、日本文学や伝統文化に関する高度な専門性を発揮できる能力を獲得していること。
- 3.所定の単位（30単位）を修得するとともに、学位論文を提出して論文審査（修士）に合格すること。

## カリキュラム・ポリシー(CP)

文学研究科（修士課程）では、古代から近現代までの日本文学と、能、狂言、歌舞伎、書道、歴史などの伝統芸能、日本文化についての広い学識を身につけ、研究を深めることにより、教育や研究、メディアにたずさわる高度な専門性を有する人材を育てることを目的にして、多様なカリキュラムを編成している。

日本文学専攻 [修士課程] では、古代から近現代までの各時代の文学、および能、狂言、歌舞伎、書道、歴史などの伝統芸能、日本文化に関する科目を中心に、文芸創作、比較文化、伝統文化（書道）などの科目を幅広く配置し、広い視野を持って自己の専門分野の研究を深めることができるよう以下のようにカリキュラムを編成する。

- 1.必修科目として「古典文学研究」「近現代文学研究」「伝統文化研究」を置き、日本文学と日本文化の基礎を学ぶ。
- 2.「近現代文学研究」「文芸創作研究」「比較文学研究」「伝統文化研究」などの選択科目を置き、必修科目と併せて各自の関心に基づき様々な分野について総合的・体系的に修得する。
- 3.「修士論文演習」と研究指導によって、より深く研究する姿勢と方法を学ぶ。